第2次静岡市地球温暖化対策実行計画 目標進捗管理 個票 (平成30年度末時点)

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	① 省エネルギーの推進

									項目	01			
指	標	市民及び事業者の電気使用量の削減量											
目	標	目標年度における基準年度比8%削減											
	Eの 的	省エネルギー	−の推進により	り、市域の温雪	室効果ガス総	排出量を削減	はすること						
	趣旨	市民及び事業者に対し、省エネルギー設備・施設の導入促進や省エネルギーに関する情報発信・普及啓発等を実施することで、電力使用量の削減を促進し、産業部門、民生部門における温室効果ガス排出量を削減する											
	取組	民生部門、産業部門における温室効果ガス排出量を削減するため、市民及び事業者に対する、 省エネルギーに関する普及啓発や省エネルギー設備等の導入促進等によって、電力使用量の削減を促す。 【代表的な取組み】 ・普及啓発 市民等の省エネルギーに関する理解や取組みの促進のため、様々な主体と連携し啓発活動を実施している。 ※平成30年度実施例											
概要	み内容/関連す	清水工 次世代 ・事業者/ 中小企 中小企	スパルスと通 たエネルギー/ への支援 業者向け省エ 主業者に「省エ	連携した「COO ペークツアー ネアドバイザ・ ネアドバイザ	クールビ 一派遣事業 一」を派遣し、	ズ、ウォームビ	-	援等を実施					
	事 業	省エネルギー対策に係る指導及び助言、二酸化炭素削減計画の策定支援等を実施中小企業者省エネルギー設備導入事業補助金 事業所に省エネルギー設備を導入する中小企業者に対し、導入に係る経費について補助金を交付 エコアクション21取得事業者支援事業 事業者による自主的な廃棄物抑制や環境負荷低減のための取組みを促進するため、 エコアクション21取得のためのセミナーの開催や取得事業者に対する補助金交付を実施											
	令等 根拠法	・エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法) ・地球温暖化対策の推進に関する法律											
同指 選定	旨標 計画	·第3次静岡 ·第2次静岡	市総合計画 市環境基本計	十画									
			養者にとって直 の消費量を、			として設定。 ぃないように販	远 元電力量/	契約口数で第	I 出。				
備	考	目標値の設定にあたっては、省エネ法との整合をはかり年平均1パーセントの削減を目標としている。 ※省エネ法:事業者に対して、中長期的に年平均1%以上の「エネルギー消費原単位」低減の努力義務を課している。											
		現在、大手	電力会社の公	〉表拒否によ	り電力量の把	握が難しい状	況。国への制	度構築を要	望中。				
		H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	935g/人日	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度			
目標 (経年目標) 標)	年目	電灯 3.72MWh 電力 5.03MWh (2013)	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%	-7%	-8%			
実	績		3.46MWh (7.0%) 4.72MWh (6.2%)	_	_	_							
進状			0	_	_			_					

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 -:中止

所管 環境局 環境創造課

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	① 省エネルギーの推進

指	標	自転車走行空間整備延長									
目	標	目標年度における259.7kmの整備									
選足目	色の的	道路利用者(の安全性・快	適性の向上の	ため、道路環	環境の改善を持	推進すること				
					う、自転車レ- 自転車走行空				性を高めるこ	ことで、観光	
概要	組み内容/関連事		転車専用通 ナのスムーズ 管理・運営 空間と駐輪場 リズムの推業 リ滅正化事業	行帯(自転車 なアクセスを[の一体的な整 など !	レーン)、車道 図り、地域の3 経備			の創造を図る) o		
	根拠法令等	・道路交通法 ・安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(国土交通省・警察庁) ・静岡市民による自転車の安全利用確保に関する条例?									
	旨標 計画	・第3次静岡 ・静岡市のみ ・静岡市自転	ちづくり	ネットワーク整	·備計画						
備	:考			(自転車利用:票として設定し	がどの程度進 いた。	[んでいるか)	が望ましいもの	のの、毎年度	算出することが	ができないた	
目	標	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
(経年目標)		115.5km								259.7km	
実績			125.1km	136.8km	159.0km	185.4km					
進捗 状況				0	0	0					

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 一:中止

所管 建設局 道路部 道路保全課

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	① 省エネルギーの推進

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·											
指	標 市民一人1日当たりのごみ総排出量												
目	標	目標年度における860g/人日の達成											
選定目	色の	廃棄物のさらなる減量により、廃棄物部門からの温室効果ガス排出量の低減を図る											
	趣旨	4Rの推進に	4Rの推進により、一般廃棄物・産業廃棄物の減量を図る										
The part of th)実施 品活用バンク <i>0</i>)推進 等				
	根拠法令等	・循環型社会形成推進基本法 ・廃棄物処理法 ・資源有効利用促進法											
同排選定				之対策実行計 画	画								
備	考	ごみ総排出量	量の現状推計		ごみ)/住民基 る堆肥化等、 引に確定。			遂した目標値る	毕設定 。				
B	標	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度			
(経年目標)	年目	974g/人日	975g/人日	959g/人日	942g/人日	926g/人日	908g/人日	892g/人日	876g/人日	860g/人日			
実	績		959g/人日	944g/人日	928g/人日	935g/人日							
進状				0	0	Δ							

_____| _____| _____| ______| _____| _____| 【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 一:中止

所管	環境局	ごみ減量推進課
끼ㅂ	垛况内	この微里性低味

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	② 地域の特色を活かした再生可能エネルギーの普及促進

指	標	市内の電気消費量に対する再生可能エネルギーの構成割合												
目	標				目標年	度における23	.6%の達成							
選足目	定の 的	再生可能エネルギー構成割合の拡大により市域の温室効果ガス総排出量を削減すること												
	趣													
概要	取組み内容/関	市内の市有 再生の市能工 【静岡平助・ 日本産省(エニ・ ・家庭、事業	再生可能エネルギーに関する環境教育の実施 市内の市有、民有の再生可能エネルギー設備を用いた見学会の開催や見学ルートの設定、周知等により、 再生可能エネルギーに対する理解の促進を図る。 【静岡市次世代エネルギーパーク】 日本平動物園を「中心施設」として、市域全体が、 経産省(エネ庁)が認定する「次世代エネルギーパーク」として認定されている。(平成26年10月~) 家庭、事業所、公共施設等への普及 公共施設への率先した再生可能エネルギー設備の導入や、国や県の補助事業に関する情報発信等を通して、											
	連事業	市域への再・再生可能エ	手生可能エネノ ニネルギーによ	レギーの導入	を促進する。 の検討				発信等を通し [*] 生化の取組みを					
	根拠法令等													
	旨標 定計 画	·第3次静岡 ·第2次静岡	市総合計画 市環境基本計	一画										
備	考	【平成30年度 別紙資料参	を の実績内訳】 照	l										
	標	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度				
(紹	 全年 標)	21.5% (2013)				22.6%				23.6%				
実	績			22.9%	23.2%	23.4%								
進状	捗 況			0	0	0			敦 V・達成不	a				

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 一:中止

所管 環境局 環境創造課

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	② 地域の特色を活かした再生可能エネルギーの普及促進

指	標	地域おこしを軸とした導入の促進										
目	標	目標年度における3箇所以上の導入										
選定目	色の的	低炭素社会	への礎となる	寺続可能なま	ちづくりを推進	進する						
	趣旨	再生可能エネルギーの導入により、持続可能なまちづくりのモデルとして発信することで中山間地域の活性化を図る										
概	組み内容	●里地里山地域における持続可能なまちづくりモデル調査研究事業 梅ヶ島地区…地元住民が主体となって、地元の企業と連携し、県の補助金を活用し詳細設計を行っている(小水力 100kW未満) 梅ヶ島は、中部電力発電所跡地の再利用 清沢地区…坂本川の砂防ダム。NPOと地域住民が主体となって、現在検討を行っている(小水力) 井川地区・両河内地区…今後、市と地域住民が連携し導入を検討										
要	連事	市民ファンドる ●静岡市次廿)地域主導型再生可能エネルギー整備事業 「民ファンドを活用した太陽光発電設備を市有施設に導入)静岡市次世代エネルギーパーク計画 「内の特徴的な再生可能エネルギー施設を観光・環境教育拠点として情報発信									
	- 根拠法											
同排 選定		・第3次静岡	市総合計画									
備	考											
	標	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
(経年標)		_				(1箇所以 上)				3箇所以上		
実績				2箇所	2箇所	2箇所						
進捗 状況				0	0	0						

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 一:中止

所管 環境局 環境創造課

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	③ 災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化

									項目	06	
指	標	防災スマート街区の形成									
目	目標 目標年度における4箇所の形成										
選定の 目的 環境負荷の低減と防災力の強化のため、エネルギーの分散化を図ること											
	趣旨	「防災スマート街区」認定制度の運用により、民間事業者によるエネルギー分散化の取組みを支援・促進する									
概要	取組み内容/関連事業	「官民連携! エネルギー ギーの需給! 平成27年度	・「防災スマート街区」認定制度について 「官民連携地域活性化会議」において提案。 エネルギーの効果的・効率的な利活用機能(再生可能エネルギー設備や燃料電池、蓄電池、HEMS等によるエネル ギーの需給調整等)を有する街区を「スマート街区・建築物」として認定する。 平成27年度から事業の認定制度を開始(街区対象と集合住宅対象の2つ) 今後は、局間連携により、規制緩和等も含めた民間事業者による事業促進の方策を検討していく。								
根 拠 法 令 等											
	旨標 計画	標 ·第3次静岡市総合計画 ・画 ·第2次静岡市環境基本計画									
備	考	同取組については、官民連携地域活性化会議の提言を受け設定 ※1地区あたりの規模が未確定なため、削減効果の積み上げには計上していない。									
目標		H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
標)						2地区				4地区	
実績				O箇所	O箇所	O箇所					
進捗 状況				Δ	Δ	Δ			\ + -1-		

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 -:中止

所管

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	③ 災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化

指	標	水素ステーションの建設								
目	標	目標年度における1箇所の建設								
選定目	色の	低炭素社会への礎となるエネルギーの分散化、また次世代自動車の普及促進を目指す								
		次世代自動車(ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車、天然ガス自動車など)の普及拡大を目指し、エネル ギー供給設備の整備を促進する								
概要	取組み、水素ステーションの建設 水素ステーション整備支援 準水素型燃料電池に係る実証実験 水素エネルギーを身近に感じてもらうための環境教育事業を実施予定 ●静岡型水素タウンの構築 静岡市、静岡ガス、パナソニックの3者による包括連携協定の締結 静岡市水素エネルギー利活用促進協議会の設立、静岡市水素エネルギー利活用促進計画の					用促進計画 の	策定			
	業根拠法令等									
同担選定										
備	考									
	標	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
(経 [:] 標		ı		協定締結 ステーション建設開始 基本構想構築	ステーション 供用開始					1箇所
実	績			1箇所	1箇所	1箇所				
進状	捗 況			0	0	0				

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 一:中止

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	③ 災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化

指標				;		Ι(EV、PHV、F	·····································	女		08
目	標	目標年度における2,130台普及の達成								
選別目	定の 的	運輸部門からの温室効果ガス排出量の低減を図るとともに、蓄電池としての活用によるエネルギーの分散化を目指す								
	趣 普及啓発活動や優遇制度を活用し、次世代自動車の普及拡大を図る。									
	取組み内	キャンドルナ		種イベント時に	こおいて、EV0	の給電デモンス	ストレーション	を実施		
概	容 /		動車普及促進 関わる各種主		会を設置し、	普及拡大に向]けた検討を行	うっている		
要	関連事業		−ションの整備 へ経費の一部							
	根拠法令等									
	指標 注計画									
		・EV、PHVについては、過去の普及トレンドにより算出 ・FCVについては、民間事業者が実施した水素ステーション建設に向けた採算性調査の普及台数を参考に算出								
備	備考 H30年度内訳: EV905台、PHV674台、FCV22台(合計1,601台)									
目	標	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
標)		805台	971台	1,137台	1,303台	1,469台	1,635台	1,801台	1,967台	2,130台
実	!績			1,084台	1,296台	1,601台				
 進捗 状況				0	0	0				

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 一:中止

所管

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	④ 気候変動に適応した対策の推進

									項目	09	
指	標				気候変動に	対応するため	の体制整備				
目	標 目標年度における体制整備										
選定目	定の 的	気候変動による影響に適応し、静岡市独自の生態系や市民生活を守り、次世代につなげていく									
	趣旨		各種関係機関による実行体制を構築し、気候変動による実際の影響を研究・蓄積するとともに、それらに備えた適応策 の効果的かつ迅速な実施を目指す								
	取組み内容	時間強雨の均	※「適応策」とは、最大限の温暖化対策を施しても避けられない気候変動の影響(2°Cの平均気温上昇に伴う影響:短時間強雨の増加、農作物の適地変化、熱中症の増加など)に対して、人間社会が進化・適応していく考え方(水害ハザードマップの作成、高気温に耐性を持つ品種の開発など)。基本的に既に実施している施策の延長であることが多い。								
概要	6/関連事業	静岡市環境 ●気候変動;	●庁内推進体制の整備 静岡市環境政策連携統括会議(局長級会議)により、庁内の連携体制を整備 ●気候変動適応情報プラットフォームへの参画 国立研究開発法人国立環境研究所の主宰する同団体への登録により、最新情報の収集を行っている								
	根拠法令等	気候変動適応	気候変動適応法								
	旨標 計画	·第3次静岡市総合計画 ·第2次静岡市環境基本計画									
備	:考	推進体制は、静岡地方気象台や河川事務所、国、県、市民活動団体などの参画を想定国の整備体制を踏まえ検討									
目	標	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
(経年	年目())	— 情報収集 普及啓発・情報収集 関係機関との調整 整備							整備		
実	:績		情報収集	庁内での連 携体制構築	庁内勉強会 施策整理	庁内勉強会 施策整理					
進状			0	0	0	0	1 NT 501 - 14 TA	A = = = = = = = = = = = = = = = = = = =			

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 一:中止

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画					
基本目標	④ 気候変動に適応した対策の推進					

									項目	10
指標		森林整備面積								
目標		目標年度における整備面積28,930haの達成								
選定の 目的		温室効果ガスの森林吸収源であるとともに、気候変動による影響から生態系を保全するための適応策として森林整備 を行う								
概要	趣旨	市有林・民有林の間伐を行うことで二酸化炭素吸収効果の高い健全な林地の拡大を目指すとともに、木材の魅力や二酸化炭素固定効果を効果的に発信し、市産材活用の拡大による林業の活性化を図る。								
	取組み	●市有林の整備 「静岡市森林整備計画」に基づき、森林環境基金による整備を実施 ●静岡市森林環境アドプト事業								
	内容	二酸化炭素吸収源の拡大を図り、都市部の事業者と山間部をつなぐ資金の「アドプト」による森林整備を実施								
	/ ●市産材利用促進事業 関 静岡ひのき・杉の家推進事業 連									
	事業		物への市産材 建築物等にお	活用 ける市産材等	F木材利用促:	進に関する基	本方針			
	根拠法令等	森林法								
	指標 計画	・静岡市森林整備計画								
備考		同指標は、温室効果ガスの吸収量を図るものとして、また、適応策の推進(生育環境の保全や水源涵養、災害対策など)を検証するために設定 基準年の数値は、第一次計画からの引き継ぎ。(1990年を基準として森林整備面積を積み上げ。) H30年度以降実績値は、中山間地聞き取り(市実施分整備面積のみ)+森林環境アドプト事業実績								
目標 (経年目標)		H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		26,430ha	26,742ha	27,055ha	27,367ha	27,680ha	27,992ha	28,305ha	28,617ha	28,930ha
実績			26,836ha	27,229ha	27,917ha	28,684ha				
進捗 状況				0	0	0				

所管 経済局 農林水産部 中山間地振興課

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画					
基本目標	④ 気候変動に適応した対策の推進					

									項目	11
指標		市民一人当たりの都市公園面積								
目標		目標年度における8.0m/人の整備								
選定の 目的		緑あふれる美しいまちを創出し、市民の生活環境の向上を図ること								
107		市の財政状況を踏まえた計画的な公園整備と、無償借地公園制度等の新たな手法の導入によって、都市計画区域内における公園面積を拡充する								
	取組み内容/	・「みどりの基本計画」に基づく計画的な公園の整備 「みどりの基本計画」における将来の都市公園配置計画実現に向けて公園整備を進めていく。 長期目標として、20年後(平成45年度) <u>以降</u> において、市民一人当たり22.2㎡/人(計129ha)の整備目標を掲げている。 ・無償借地公園制度の推進(平成26年度~)								
概要	関連	; 未。 : 土地正方老は - 趙钊上の傷埋が受けたわ、土地管理の負担が軽減される								理を行う事
	事業	工地所有有は、税制上の愛迪が受けられ、工地管理の負担が軽減される。 【整備実績】 1件 三保陽だまり公園(土地所有者: JFEエンジニアリング 株式会社)								
	根拠法令等	・都市緑地法 ・静岡市みどり条例								
・第3次静岡市総合計画 ・第2次静岡市環境基本計画 ・静岡市みどりの基本計画(緑地政策課)										
		同指標は、ヒートアイランド対策の推進や緑地の普及状況について検証するために設定。 同取組を行うことで、緑のネットワーク形成に資する取組となる								
備考		本指標は、「第1次環境基本計画」にも搭載されていた指標(平成29年度に8.4㎡/人)であるが、財政面等の事情から都市緑地の開設が計画通り進まなかったこと等により未達成であった。								
		公園面積については、計画策定時の市民意識調査により市民からの満足度が低く要望が多かった点であるため、これまでの整備状況等を踏まえ、現実的な目標値を算定したうえで再度指標として設定した。								
目	標	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	年目	6.09㎡/人								8.0㎡/人 以上
実績			6.2㎡/人	6.27㎡/人	6.33㎡/人	6.51㎡/人				
進捗 状況				○【凡例	0	0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		× : 達成不 戸	

【凡例】 ◎:達成 ○:達成に向け順調に推移 △:要調整 ×:達成不可 -:中止

所管 都市局 都市計画部 緑地政策課